

◎第5学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭で取り組んでいただきたいことです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	ツ ク ェ
国 語	○区の学力調査によると「漢字を読む」問題では、平均正答率が93%あり、区平均正答率より上回った。 ●「漢字を書く」「発表の内容を聞き取る」問題では、正答率が区平均正答率より約5%下回った。	・友達の見解や提案などを聞くときには、必要な情報をノートに書き、情報を集めながら聞くことを指導する。 ・文章を書くときには、学習した漢字を正確に書くことを指導する。 ☆様々な考え方に触れられるよう、新聞や本を読む機会を増やしてください。また、文章を書く際に、漢字の使用状況なども見ていただき、漢字を使うよう声かけをしてください。	
社 会	○学習課題について意欲的に調べ、追究することができる。 ●資料から取り出した情報を比較・関連付けて考える問題の正答率が50%程度であった。 ●「国土の地形の特色」については、知識・理解が定着していない。	・学習課題を追究する中で、資料から読み取るポイントを指導する。複数の資料を提示し、資料から取り出した情報を比較・関連付けて考える授業を行い、資料を読み取る力の涵養を図る。 ・単元の終わりには、まとめの問題や復習問題などに取り組み、知識の定着を図る。 ☆ニュースや新聞で話題になっていることを家庭でも話題にしていいただき、その国や地域が出てきたときに、一緒に地図帳などを見て確認してみてください。	
算 数	○区学力調査によると「角の大きさ」「いろいろな形」で区及び全国平均を上回った。 ●活用が区平均を下回った。特に「わり算」「小数」「面積」「計算の決まり・変わり方調べ」では、区平均を下回っている。	・東京ベーシックドリル、計算ドリル、スキルアップ等を繰り返し活用し、基礎問題を繰り返し解くことにより、基礎及び応用力の定着を図る。 ☆宿題に出された問題が正しく解けているか見てあげてください。子供に丸つけをさせるだけではなく、間違えている問題は何度もやり直してください。	
理 科	○観察・実験に積極的に取り組める児童が多い。 ○事象を話し合い予想を立てることに積極的な児童が多い。 ●既習事項を、知識ととらえて活かすことに課題がある。	・実験や観察する際の、分かりやすいノートのとまとめ方の指導や実験後の学び合いの時間を充実させていく。 ☆理科で学習している内容を問いかけ、家族のみなさんが子供から説明を聞く時間を作ってみてください。子供は説明することで理科への関心が高まり知識が定着します。	
音 楽	○めあてをもって学習に取り組むことができ、音楽を形づくっている要素の働きを感じながら、意欲的、積極的に音楽表現活動に取り組む姿が多く見られ、音楽に対する興味・関心を持っている。 ●友達と関わり合いの中で学ぶことが多いが、互いの考えの違いやよさを理解し、協力して話し合い表現活動を行うことに困難を感じる場面がある。 ●器楽のリコーダーの学習では、運指など技能面でのつまずきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・伸びのある明るい声で歌ったり、演奏したり、音楽をよく聴き感じ取ったことを体の動きで表したりするなど、多様な音楽活動を通して、豊かな感性を養うようにする。 ・発声や音程に気をつけて歌い、リコーダーのアンサンブルや器楽合奏を通して、音を重ね合わせる経験を広げるようにする。楽器の基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ・課題について手本となる児童を価値づけ、児童たちが自分のことと対比し適切な方法に気付くことができるようにする。良好な人間関係の中で学ぶことができるよう場に応じて、振り返りを行いながら、協力して課題を解決することができるような学習過程を重視する。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図 工	○つくりたいもの、つくるための行程を自分で考え、進めていく力がついてきている。 ●最後までやりきる集中力が不足したり、作るための行程を自分で考え、進めていく力が不足している。	・完成作品を提示し、目指す完成度を明確にする。 ・簡単な工程表が作れるように指導する。 ☆新しく取り組んだ題材の楽しさや、新しく身につけた技術について話を聞き、共感してあげてください。今年度は作品展があり、実際の作品を見てその良さをほめてあげてください。また、身近な美術作品を見たときや、身の回りのものに触れたときに感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってください。	
家 庭	○学習に意欲的に取り組んでいる。 ●手縫いでは、技量の個人差が非常に大きい。 ●生活経験の少なさから、手縫いや調理のイメージをもてない児童がいる。	・学校で学んだことを、日常生活でも活かせるような機会を設ける。 ・視覚的に分かりやすい提示をする。 ・反復練習をさせる時間を多く設ける。 ☆学習したことを、実際に家庭で実践できるような課題を設けますので、励みになるような声かけをしてください。	
体 育	○体力テストの結果から全体的な傾向としては男女とも、全国平均とほぼ並んでいる。 ●男子は「持久力」「敏捷性」、女子は「敏捷性」全国平均より下回っていた。	・持久走やなわ跳びなど、学校で行っている体育的活動への積極的な参加をうながす。 ・体育授業の始めに、継続的に持久力を高める運動を取り入れる。 ☆日頃から外で遊ぶように声をかけてください。また、休日などには、なわ跳びや鉄棒、ランニングなどご家族一緒に取り組むことが大切です。	

